

学校の教育目標「自らとりくみ 輝く佐見の子」



校報 さみ キラリ

佐見小学校ホームページ <http://samisyo.town.shirakawa.gifu.jp>

白川町立佐見小学校

校長 佐伯 好洋

平成28年度 校報

1月号 (No.11)

子どもたちを取り巻くネットの実態から

校長 佐伯 好洋

3学期を迎え、早1か月が過ぎようとしています。1月に入り、寒さも厳しくなってきましたが、子どもたちは毎日元気に過ごしています。2月にはかがやき発表会を予定しています。子どもたちが今年度頑張ってきたことを、それぞれに発表する予定です。是非、ご家族みんなでご参観いただきたいと思います

さて、2学期に行ったインターネットに関する調査の本校児童の結果の一部を紹介します。ゲーム機や音楽プレーヤーが通信機能を持つようになり、子どもたちがインターネット回線を通して広く、そして多くの人々とつながることができる環境にあることがわかります。今回の調査から、携帯電話の所持率はまだ低く（1割程度）、ネットを通じての被害やいやな思いをしたことのある子もいませんでした。また、利用の仕方を家庭できちんと決めていただけていることもわかりました。しかし、その使用時間を見ると、平日の帰宅後の生活時間の多くを費やしている子がいることもわかります。

質問	回答内容	1～3年	4～6年	全校
通信型ゲーム機や携帯音楽プレーヤーを もっていますか。	はい	63%	91%	78%
	いいえ	37%	9%	22%
通信型ゲーム機あるいは携帯音楽プレーヤー を使う時間は平日で1日にどれくらいで すか。 (Q2で「もっている」と答えた人のみ)	30分まで	50%	20%	31%
	1時間まで	42%	35%	38%
	3時間まで	8%	30%	22%
	3時間以上	0%	15%	9%
インターネットや携帯電話でSNSに書き 込みをしたことがありますか。	ある	0%	32%	18%
	ない	100%	68%	83%
オンラインゲームをしたことがありますか。	ある		77%	77%
	ない		23%	23%
あなたの家では自分が使う携帯電話(低学年 はゲーム機)の利用のしかたを決めています か。	決めている	100%	18%	56%
	決めていない	0%	18%	10%
	使っていない		64%	34%

学校ではネットの利用の仕方や情報モラルに関する指導も行っていますが、これからますますネットの世界が子どもたちの身近になっていくと考えられます。1月の生活チェックの結果も保健だよりでお知らせする予定ですので、メディア視聴時間や通信機器の利用について、子どもたちと一緒に考える機会にさせていただけるとありがたいです。よろしく願います。